結果報告[9月Web教えてモニター「敬老の日」

【テーマ・商品】

敬老の日

【モニター目的】

「敬老の日」関連の商品利用実態を調べ、次年度の品揃えや商品企画に活かす。

【回答期間】 9/19~9/28 【回答者数】 293名 ■総評

(1)70歳以上の親または祖父母と同居している、または本人が70歳以上で子ども・孫と同居しているという方は全体の15.7%でした。別々に住んでいるケースも含めて、今年の「敬老の日」に特別なことをした・された方は57.1%でした。最も多かったのは「プレゼントのやりとり」で36.3%、以下「一緒に家で食事をした」(11.9%)、「電話で話した」(10.6%)、「手紙・カート・メールのやりとり」(8.8%)、「一緒に外食」(8.4%)と続きます。

プレゼントのトップは「ケーキ・菓子類」(40.9%)で、「花・植物・園芸品」(21.5%)、「衣料品」(19.4%)、「装身用小物・アクセサリー」(6.5%)、「カート」(5.4%)、「酒類」(4.3%)の順となっています。何もしなかった方の理由は、「離れて暮らしている」、「日ごろから親しく接しており、改まってはしない」、「誕生日などに祝っている」などが多くみられました。

(2)「敬老の日」にプレセントを贈る側になったと仮定して、贈りたいプレゼントは、「おしゃれな普段着」や「本人の好きな食べもの」、「おいしいお菓子」、「花」、「パジャマ」、「お酒類」、「旅行」、「食事」、「小物」、「靴」、「果物」、「寝具・枕」などでした。

逆にもらう側になったと仮定して、もらいたいプレゼントは「花」、「おいしいお菓子」、「おいしい食べ物」、「おしゃれな服」、「小物」、「旅行」、「食事」、「ウォーキングシューズ」、「お酒類」、商品券・現金」、「靴」などでした。

重なるものが多い中で、贈りたいものでは「果物」、「寝具・枕」、 もらいたいものでは「ウォーキングシュース」、「商品券・現金」が重 なっておらず、この辺りに "本音、が出ているのかもしれません。



